

## 図面作成ソフト操作等に係る個別勉強会の実施について

### 1 はじめに

気仙地方では、施業等の効率的化により「再造林」の促進等を図ることを目的に「低コスト林業研修会」を、また、「意欲と能力のある林業経営体」等を始めとする林業事業体等の資質向上や相互関係強化、情報共有や意見交換等を通じ、課題の整理や解決につなげていくことを目的に林業事業体等を対象とした勉強会を開催しています。

今回は、図面作成ソフトの操作方法について、希望する事業体向け個別勉強会を実施しましたので紹介します。

### 2 個別勉強会の内容

今回の個別勉強会は、令和4年1月14日に実施した「低コスト林業研修会」の際に用いたRTK-GNSS（高精度のGPS機器）に、境界データ転送までの操作方法習得を目的として、公図のスキャンから、データ化作業、機器への転送について、事業体のパソコン及びGNSS機器を用いて行いました。

#### (1) 事業体で準備した機器

- ① パソコン（QGISインストール済）
- ② RTK-GNSS機器（アンテナ）
- ③ スマホ（位置補正サービス契約済）

#### (2) パソコンの操作

今回は、実際に事業体が施業委託を受けた箇所  
の公図を用い、データ化及び転送の操作を実施しました。

勉強会の実施にあたっては、基本となる設定から転送までをまとめた資料をマニュアルとして用意しました。

マニュアルの項目は次のとおり。

① プロジェクトの保存方法

② 背景レイヤの設定方法

国土地理院地図、空中写真、グーグルマップ等のXYZタイル、CS立体図の画像ファイル及び国有林シェープファイルの表示方法等

③ 境界の描画方法

公図から境界（地番界）を描画する方法

④ 境界データ転送方法

作成した境界データをGNSS機器に転送する方法

#### (3) 個別勉強会を受けての感想

今回のマニュアルは、操作方法全般ではなく、利用目的に必要な項目のみに絞ったことにより、「理解しやすく、別の地番でも迷わずに作業できる」という感想とともに、公図をデータ化した線と、地形図、空中写真、CS立体図（赤色立体図）とを対比する方法を示したことにより、「これまで現地把握のために数日要していた苦勞がたった数分で解決する」という感想をいただきました。

#### 3 今後の対応

今回は、GNSS機器を導入した事業体への個別勉強会を実施しましたが、次回は今後導入する事業体や興味を持っている事業体に対し広く研修会を実施する予定です。



YouTube「岩手の林業 普及班チャンネル」において、QGIS基本操作、応用操作の研修動画を配信しています。わかりやすい内容ですので、ぜひ御視聴ください。